

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	子ども生活専攻専攻
	主な担当科目	子どもと造形 保育内容(表現・言葉)
	氏 名	佐藤 智朗
	フリガナ	サトウ トモアキ
	職 位	教授
	学 位 等	教育学士

研究内容・社会業績等

〈研究内容〉

1. 幼児の表現を引き出す造形素材の研究:可塑性の高い素材(紙や土粘土)・自然の素材(木の葉・木の実・木の枝)・ごっこ遊びに繋がる材料(段ボール箱や廃材)
2. 学生の表現意欲を引き出すアクティブラーニング:幼児を対象としたイベントの企画・準備・運営を通して、自ら考え行動し、反省をする授業の実践
3. 保育現場での実践を想定した表現媒体:幼児を対象とした、表現媒体(ペープサート・パネルシアター・張り子人形・棒人形・紙芝居)の制作及び活用方法
4. 保育者養成の在り方:実践力のある保育者を養成するための教育方法

〈社会貢献〉

1. 潜在保育士就職支援講座講師(2014・2017・2018)
2. 宇部市保育協会保育士会研修会講師(2017・2019)
3. 山口県造形教育研究会柳井支部研修会講師(2014・2015・2019)
4. 萩市内の保育者対象ワークショップ(表現媒体の制作)講師(2022)

論文・書籍・資格等

- 『「保育実践力」習得のための態度や基礎を培う試み(1)―「保育表現技術・造形」と「保育表現技術・言葉」・「言葉の指導法」の授業連携―』山口芸術短期大学研究紀要第50巻 共著 2018年3月
- 『短期大学における保育者・介護福祉士養成の課題―学習成果の検証を基に―』山口芸術短期大学研究紀要第51巻 単著 2019年3月
- 『短期大学における保育者養成の課題(4)―造形教育からの考察―』山口芸術短期大学研究紀要第52巻 単著 2020年3月
- 『保育造形材料としての段ボール～段ボールハウスの制作を通して～』日本保育学会第69回大会発表要旨集 単著 2016年5月
- 『保育造形材料としての段ボール(2)～保育現場における実践を通して～』日本保育学会第70回大会要旨集 単著 2017年5月
- 『学生の学習意欲や主体性を引き出すイベントの効果～「遊びの広場」の企画・運営を通して～』日本保育者養成教育学会第2回大会抄録集 単著 2018年5月
- 『保育者養成における「お店屋さんごっこ大会」開催の意義と課題』日本保育者養成教育学会第4回大会抄録集 単著 2020年3月

学生へのメッセージ

子どもの笑顔は、保育者にとって、子どもからの最高のプレゼントであり、やりがいになります。子どもを笑顔にすることができる保育者になるためには、たくさんを経験し、知識や技術を身に付け、子どもを主体とした保育を行えるように、ならなくてはなりません。

頭の中で考えるのではなく、実際に手や身体を動かす中で、必要な知識や技術を身に付けてほしいと思っています。

いろいろなことに、挑戦してください。大変さを乗り越えた時に、人は必ず成長します。仮に、失敗したとしても、一生懸命に取り組んだことは、決して無駄にはなりません。